

## 令和四年度埼玉県立戸田翔陽高等学校 第58回入学式 式辞

暖かい春の日差しを浴びて色とりどりの春の花があふればかりに咲き誇る今日の佳き日、保護者の皆様のご臨席も賜り、令和四年度埼玉県立戸田翔陽高等学校 第58回入学式を盛大に挙行できますことは、本校にとりまして、大きな喜びとするところであります。

ただいま、入学を許可いたしました208名の生徒の皆さん、入学おめでとうございます。

本校の教職員並びに在校生を代表して、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

本校は、学ぶ意欲と熱意のある者が、自らの学習スタイルに合わせて、いつでも学べる、柔軟で多様な学びのシステムの、3部制、単位制、総合学科の高校です。

校名である翔陽の「翔」とは、志を抱いた鳥が力強く勇敢に飛翔していく姿を、「陽」とは、夢・希望・目標を表しています。本校生徒たちが志を抱き、夢・希望・目標に向かって、力強く勇敢に飛翔していくという願いがこめられています。

本日は入学に際して皆さんに二つのこととお話ししたいと思います。在校生には先日の一学期始業式において話したことです。

一つ目の言葉ですが、「和して同ぜず」という言葉についてです。中国の「論語」という書物の中の孔子という人物の言葉に由来しています。「他人と協調はするが、道理に外れたようなことや、主体性を失うようなことはしない。」という意味です。

現代社会においては、協調性・協力性が求められています。同時に自らの判断で行動することも求められ、時に自分をPRしたり、「自分らしさ」を表現することが求められる時代です。周囲と協調しながらも、しっかり自ら判断し、主体的に物事に取り組んだり、行動できる人になってほしいと思います。ぜひ、「和して同ぜず、和して流されず」の姿勢で、高校生活を送ってみてください。

二つ目は、「今日の自分を超える。」という言葉です。「今の自分に変

化を少しつけてみる。」ということです。今日は昨日の自分から少しでも変化させる。そして、明日は今日の自分から何かにおいて変化させてみる。他人との比較ではありません。自分自身に目を向けて、何らかの変化を加えてみる。

その変化とは、「新しく計算式を覚えた。朝、早く起きて、何かに取り組むようになった。英単語や新しい表現を覚えた。笑顔が増えた。『ありがとう』と人を感謝できるようになれた。『すみません』と素直に言えるようになった。」など、ひとり一人によって異なっています。それが、個性になっていくと思います。

どんな些細な小さな変化でも構いません。今日よりも明日、明日よりも明後日、と変化させる、付け加えてみる。それが成長ということかと思っています。少しずつ構いません。少しずつの変化、少しの成長が「今日の自分を超える。」ということにつながります。その気持ち、姿勢が重要と考えます。積み重ねていくことで、それが大きな飛躍につながります。

今、二つの言葉・考え方を伝えました。ぜひ、皆さんなりに考えて取り入れてみてください。皆さんの周りには、皆さんを支える家族の方々、指導や支援をする私たち教職員、温かく見守ってくれる地域の方々や卒業生がいます。

自分の可能性を信じて、明るく輝く未来をめざして、新しい学校生活をスタートさせてください。

どうか、保護者の皆様におかれましては、本校を信頼し、緊密な連携を図っていただくとともに、力強い御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日御臨席を賜りました保護者の皆様に、あらためて御礼申し上げますとともに、新入生の皆さんが心身ともに健康で充実した高校生活を送ることができるよう、祈念いたしまして、式辞とさせていただきます。

令和四年四月十一日

埼玉県立戸田翔陽高等学校長 野口幸男